

デジタルミュージアム推進事業 令和7年度 第1回

ウチナーの民話上映会



沖縄県立八重山商工高等学校の生徒による
手作り紙芝居「人魚と津波」の披露と
民話のデジタルコンテンツを4本上映します。
ウチナーの民話としまくとぅばの魅力をお楽しみください。

2025.
7.26土

入場無料

15:00~16:00
(開場 14:30)

会場 博物館講座室

受付 当日先着 (定員 80 名)

お問合せ 098-941-8200
〒900-0006

沖縄県那覇市おもろまち 3-1-1

※ 会場内は、空調の影響で寒くなる場合があります。
※ 都合により催事内容は予告なく変更する場合があります。
予めご了承ください。

あなたの沖縄に出会う
沖縄県立博物館・美術館
Okinawa Prefectural Museum and Art Museum

【開館時間】 9:00~18:00 (金・土は 20:00 まで) 大防止にご協力を！ /
【休館日】 月曜日 (月曜祝日の場合は翌平日休館)、
7月2日(水) ~ 10日(木) はメンテナンス休館



イベント詳細はこちら



プログラム



第1部

八重山商工高等学校家庭クラブ同好会 による紙芝居披露

沖縄県立八重山商工高等学校家庭クラブ同好会では、授業をきっかけに地元「石垣の民話」が民話を語り継ぐ場面や機会の減少により失われつつある現状を知りました。そこで古くから石垣に伝わる民話「人魚と津波」の紙芝居づくりに挑戦し、地域に伝わる伝統行事や文化を学ぶと同時に、子どもたちにも「地元石垣への愛着をもってもらいたい」、「郷土の文化を知ってもらいたい」という思いで近隣のこども園・保育園で披露する活動を行っています。昨年度は共通語での活動でしたが、今年はしまくとうばバージョンにもチャレンジしており、その成果を今回沖縄県立博物館・美術館で披露します！



第2部

デジタルミュージアムの 民話上映会

聴きくらべ にチャレンジ！

①お話を楽しむ 共通語バージョン

②実際の話者による しまくとうばバージョン

どんな違いがあるか感じてみましょう♪



令和2年度 制作

①「天福地福」(約6分半)

久高将亀 1900年生まれ(1979年収録) 東村字宮城

親孝行の若者の前に女神が現れ黄金のありかを教える。若者の友達が黄金を取りに行くと、そこにはハブがいた。友達はある若者に騙されたと思い、そのハブを若者の家に投げ込む。すると、翌朝ハブは黄金になる。



令和元年度 制作

③「マジウムヌと火」(約4分)

鏡平名泰仁 1900年生まれ(1978年収録) 多良間村

人間とマジウムヌは友達。人間は火を知らず硬いものを食べていた。マジウムヌは火で柔らかくしたい食べ物を人間にご馳走する。その秘密を知ろうと人間はマジウムヌを訪ねる。



平成29年度 制作

②「黒金座主と北谷王子」(約2分半)

平良キヨ 生年不詳(収録年不明) 那覇市

那覇に黒金座主という悪い坊主がいた。北谷王子が暮の勝負に誘い、黒金座主を成敗する。それから、北谷王子の屋敷大村御殿に、黒金座主の幽霊が出るようになるが…。



令和2年度 制作

④「雀孝行」(2分半)

真地文子 1927年生まれ(1976年収録) 与那国町

雀とツバメは姉妹。姉妹が機織りの仕事をしているとき、母親が病気という知らせが来た。雀は急いで帰り看病をしたが、ツバメは着飾って来て葬式にも間に合わず、叩かれて尾羽が割れた。

WEBアーカイブ

ウチナー民話のへや

おきみゅーwebサイトの「ウチナー民話のへや」では、当館が収蔵している約33,000話の民話のうち、80話の動画コンテンツをお楽しみいただけます。

動画の再生パターンは4種類！同じ民話をしまくとうばや共通語などの語り口で楽しむことができます。

また、地域別やお話の種類別など民話の情報を自由に検索できるデータベースシステムもご利用いただけます。



気軽にアクセスしてみようね！

